

スキルス・ラボにおける海外交流トレーニング

岩田貴・福富美紀・長宗雅美・赤池雅史

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部医療教育開発センター)

1. 背景

保健医療の国際化に対応できる人材や医療の課題を世界的な視点から解決できる人材を育成するために、医療教育のグローバル化が求められている。これを受けて、最近、わが国における医療教育では、語学力、特に英語力強化が重視されてきている。しかしながら、「グローバルスキル」とは、単なる語学力ではなく、コミュニケーションスキル、リーダーシップ、判断力などを始めとするノンテクニカルスキルを包括した基礎的・汎用的能力である。これらの能力は、もちろん on-the-job training で育成されていくが、その準備教育の手法としてシミュレーション教育は非常に有効であり、海外交流の場としてのスキルラボの持つ可能性は非常に大きいと考えられる。

これまでに我々は各学科と協力して海外からの視察を受け入れるとともに、オリジナルの英語版実習用テキストを作成して、それを元にシミュレーターを用いて体験実習を行ってきた。特に、2010年からヘルシンキメトロポリア応用科学大学ヘルス・アンド・ナーシング学部と学術及び研究交流に関する部局間交流協定を結んでいる地域看護学分野と協力して、これまでの3年間で4回にわたる交換留学生体験実習を実施している。当初はスキルラボで導尿および採血・点滴のタスクトレーニングのみを行っていたが、本年は新たに看護学科、医学科、留学生の多職種チームで、英語を用いたシナリオベースのBLSを行った。3年にわたるスキルラボでの海外交流の取り組みについて、内容の紹介と学生アンケートの検討結果を報告する。

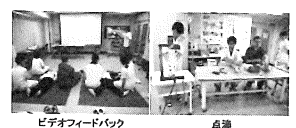
2. 対象・方法

対象は2010年から2012年までの実習に参加したフィンランド人留学生5名と本学看護学科生17名、医学科生1名である。2010年では留学生のみの参加であったが、2011年から看護学生のボランティア参加で合同実習という形をとった。医療教育開発センター教員の医師、看護師が1名ずつで指導者となり、学習者の経験に応じて導尿、採血、衛生的手洗いの実習を行った。それぞれの実習では、医療教育開発センターオリジナルの英語テキストを作成し、シミュレーターや実際の医療器具を用いて現実味や緊張感をもたせ、1つの実習に60分かけて実習した。2013年には医学科、看護学科の学生との合同基本的救急救命処置実習に加え、タスクトレーニングの後に、シナリオベースの実習、ビデオフィードバックを行った。具体的には、まずBLSの基本手技の確認をシミュレーターを用いて行い、次いで「巡視中に急変した患者を発見した」というシナリオでシミュレーショントレーニングを追加で行った。トレーニングの様子はビデオ撮影し、ビデオフィードバックを行った。いずれも実習終了後にアンケートを実施した。

体験実習 (2012年2月、2013年5月)



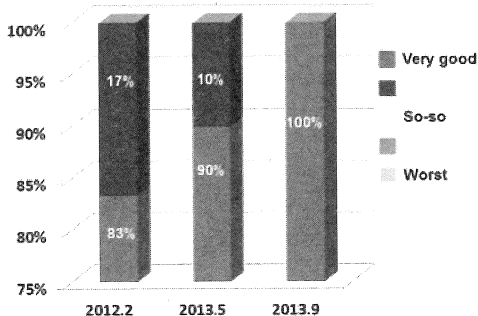
体験実習 (2013年9月)



3. 結果

【看護の観点から見て今回のセミナーはいかがでしたか?】「大変良い」の割合が増加し、2013年には100%となった。

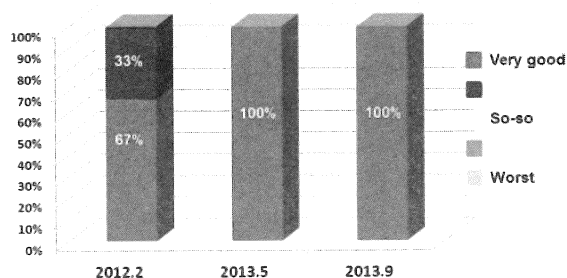
Was the program, from the nursing point of view, satisfactory for you?
(看護の観点から今回のセミナーはいかがでしたか?)



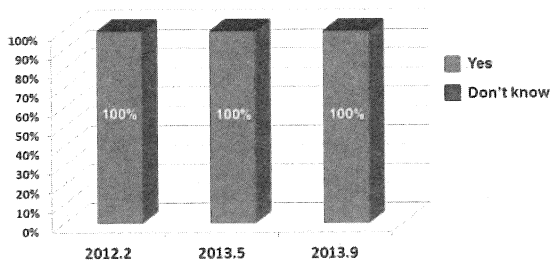
【チューターたちはいかがでしたか?】2013年からは100%の「大変良い」という満足度の高さであった。【(この実習を)後輩たちに勧めようと思いませんか?】3回とも100%が「勧めたい」と答えた。自由記載において、【どこが一番印象に残っているか、その理由は?】に対して、2012年2月と、2013年5月では、採血、導尿、手洗いをいう単語が多用されており、その理由として、良い経験になった、楽しかった、授業になかったことができた、というフレーズが数多く見られた。2013年9月の実習では、ビデオ、フィードバック、シナリオという単語が印象に残った事象として多用され、その理由として、客観的に見る、振り返れる、改善点が見つかる、などが多用されていた。

【その他感じたことを記入】では、留学生と交流ができた、英語での授業は新鮮であった、フィンランドとの違いなどが理解できたなど、今後の発展が期待できる意見が見られた。

How were tutors?
(チューターたちはいかがでしたか?)



Will you recommend your juniors to attend the seminar, if it is hold in next year?
(後輩たちに勧めたいと思いますか?)



4. 結語

2013年9月に施行したシナリオベースのシミュレーション実習+ビデオフィードバックではこれまでのタスク実習と違って経験することに対する満足だけでなく、学習者に不足している部分を気付くことが多く、ビデオフィードバックによるデブリーフィングは学習効果が高かった。また、英語での実習でも学習者にとって違和感はなく今後の多様な実習形態の開発につながると考えられた。